

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	6
事業名	保健福祉センター経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	3
施策	2 人にやさしいまち	課名	地域福祉課		
	2-1 健康に暮らすまちをつくる	係名			
	2-1-1 自らの健康づくりの推進				
主要施策	①健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	健診事業や療育事業等を実施する保健福祉センターの適切な維持管理を行ない、町民の健康福祉の増進及び文化的な生活向上を図る。
事業内容	・検診事業や療育事業等を実施する保健福祉センターの保守点検及び維持管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、長寿命化を図るため、計画的な改修を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
指標	1	施設利用延べ人数	12,629	10,385	8,844	人	↑	14,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			60,529		10,957		21,317	
財源内訳	直接事業費A		57,427		6,469		17,423	
	うち一般財源		11,308		6,284		9,051	
人件費（千円）B			3,102		4,488		3,894	
内訳	一般職員（人・千円）		0.47		3102		0.59	
	臨時職員（人・千円）		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。	③取組の課題	昭和54年の建設から40年が経過し、施設が老朽化していることから、改修に多大な費用が必要である。
②R2年度に実施した取り組み	経常的な維持管理を行うとともに、照明設備LED化工事設計を行いました。	④今後の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。来年度は、照明設備LED化工事を実施します。今後、施設使用料の減免について、廃止を検討していく。